

# 夢 (ゆめ)

文責 校長 池田 新

— 自立の精神に満ちた豊かな人間力の育成 —

## 1 3月5日(金)に「第55回卒業証書授与式」を執り行いました



41名の卒業生が川登中学校を立派に巣立ちました。卒業証書の授与では、全員が真剣な態度で受け取る姿に義務教育9年間を終え、希望進路に向けて旅立つ頼もしさを感じました。

川登中学校の最上級生として日々の学校生活において責任感を持ちリーダーシップを発揮したことが、自信となった証だと考えます。

式辞では、卒業生の様々な活躍を振り返ってその功績を称えました。

体育大会でのテーマ「One Team ～ 魅せる團結 届ける感動 勝利の道突き進め～」の実現に向けて、協力の意義や全力を出し切る尊さを伝えるために自ら進んで示した手本が成功に導いたこと、先輩が後輩を指導して完成させた「川中ソーラン」を華麗に演技したことは素晴らしいリーダーシップを発揮した証でした。

学習成果発表会では「悲惨な戦争は絶対にあってはならないこと」「命は自らが大切にしなければならぬこと」の提言、鹿児島の人々の取組から「生き様」の学びや「真の幸福とは何か」を考えた内容な人生の糧になった素晴らしい発表でした。

中体連で好成績を上げたり県大会に出場したりしたこと、駅伝で地区大会男子優勝・ロ



ードレース入賞制覇、女子準優勝、県大会5位入賞のタイムは優勝校と1分も差がない偉大な功績であった。これは「小さな学校でも一生懸命に努力すると素晴らしい成果を発揮できる川中生である。」証でした。

生徒会活動では、「川中 PRIDE～善力・前力・全力」を掲げて、挨拶の励行・無言掃除の徹底に取り組んだ成果として「規律正しい川中生になった。」との声が聞かれるようになった。

「より良い学校にしたいという意味」は後輩が受け継ぎ、伝統にしてくれることでしょう。

3年間の成長は「目的を明確にして一生懸命に努力したり仲間と協力したりすることで大きな成果を達成できる力を備えている。」と校長として自信を持って言える程でした。

新しいことを知りたい・新しいことができるようになりたいという知的欲求が、今までの原動力となり大きな成長を支えてきた。時には忙しすぎると思うことがあったかもしれないが、立派にやり遂げてきた成果を自信として、進学しても社会人になっても「立志の決意」の実現に向けて個性と能力を発揮して「自己実現」を果たしてほしいと期待しています。

現代社会で求められる「学び続ける大切さ」や「いついかなる時もいろいろな人から謙虚に学ぶ」こと、成長し続けて有意義な人生を過ごすために「失敗を怒れずに新しいことや未知の分野に勇気をもって挑戦する。」ことを意識を抱き続けて、「満足する人生」を過ごしてほしいと願っています。義務教育9年間の基盤とした活躍を期待します。卒業おめでとう！



## 2 佐賀県新年書き方会で受賞しました

【特選】〈硬筆〉坂田美空（1年）

※ 学校通信は川登中学校HPにおいてカラーで見ることができます

川登中学校HP・・・<http://cms.saga-ed.jp/hp/kawanobori-j/home/homeMain.do>